

審議事項

＜沖縄県立職業能力開発校のあり方について＞



1. 本日の審議事項について

審議事項

沖縄県立職業能力開発校のあり方骨子（たたき台）について

- 前回の審議会でいただいたご意見、アンケート調査、ヒアリング調査等の結果を踏まえ、県が整理した
あり方骨子（たたき台）についてご意見を伺う
- 本日のご意見を踏まえ修正した内容を、**次回審議会（2月中旬を予定）**にあり方（素案）として
提示する予定

本日の進め方

1 事務局説明

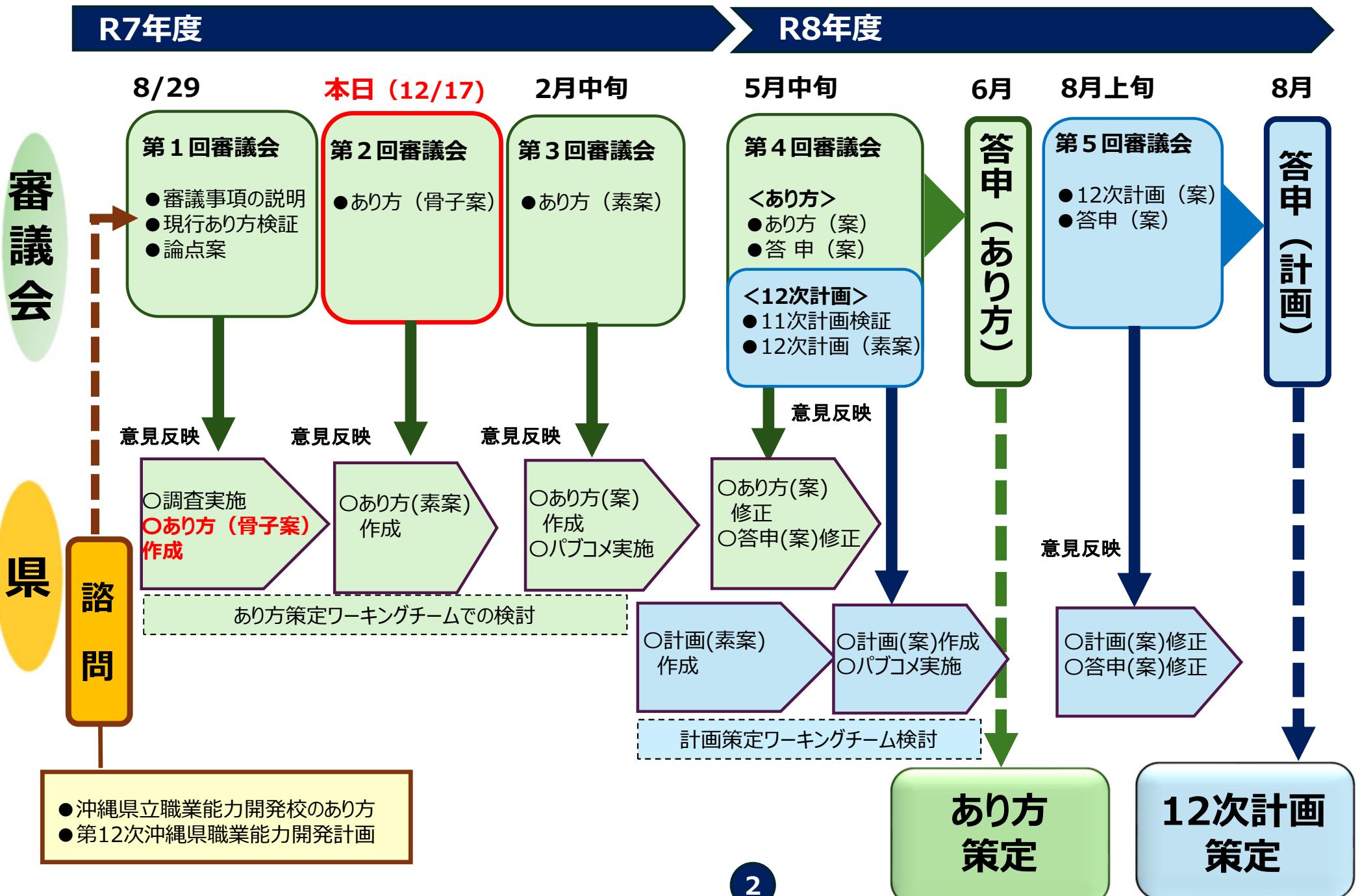
- 職業能力開発を取り巻く環境（産業動向、労働需給、訓練ニーズ、教育訓練機関の状況等）
- 沖縄県立職業能力開発校の現状と課題（定員充足・就職の状況等）
- あり方骨子（たたき台）について

2 意見交換

- 論点を踏まえ、あり方骨子（たたき台）について意見交換

3 今後の進め方の確認

2. 審議スケジュール（今回の位置づけ）



3. 「沖縄県立職業能力開発校のあり方」 策定の背景と論点

新たなあり方の必要性

- 沖縄県は平成25年度に、職業能力開発校の長期的なあり方を示す「沖縄県立職業能力開発のあり方」を策定
- その後、人口減少を始めとする経済・社会構造の急激な変化、多様な働き方の進展など、職業能力開発を取り巻く環境は大きく変化
- 職業能力開発校が、今後も時代ニーズの変化に対応しその役割を果たすため、新たに長期的な基本方針（あり方）の策定が必要

主な論点

＜現状＞

産業構造の変化、人口減少、技術革新の加速化、多様な働き方の進展など、職業能力開発を取り巻く環境が大きく変化

＜あり方の論点＞

産業、国・民間教育訓練機関等との役割分担や連携のもと、どのような役割や機能を果たすべきか

- ① **訓練科のあり方** : 産業、企業、労働者ニーズを踏まえた訓練科の最適化
- ② **対象者の設定** : 若年、女性、中高年、障がい者など多様な人材の活躍促進、在職者訓練の強化
- ③ **役割分担・連携** : 国・民間機関との相互補完による人材育成の強化
- ④ **産業界との協働** : 訓練の質、実践性を高めるための仕組み、協働育成モデルの構築
- ⑤ **訓練資源の最適化** : 施設の配置、訓練指導員の確保・育成、授業料の取扱いなど